

いろいろな意味をもつ言葉

名前

ことば

C-1

言葉には、かなで書くと同じでも、ちがう意味をもつものがあります。

① 次の□には、同じ言葉が入ります。入る言葉を考えましょう。
また、その言葉を使ったときの意味を線でつなぎましょう。

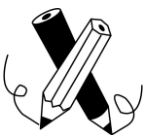
- | | | |
|---|--------|--------------|
| ① | かぜを□ | えんそうする |
| | ピアノを□ | 自分の方へ動かす |
| | つなを□ | かぜにかかる |
| ② | ボールが□ | 光や熱を受ける |
| | くじに□ | ぶつかる |
| | 日に□ | 引きあてる |
| ③ | 登山電車で□ | いきおいにまかせる |
| | 調子に□ | 乗り物の中や上に身を置く |
| | 新聞に□ | 紙面に書かれる |

① 「きる」
② 「かく」
③ 「きる」
いろいろな意味の「きる」「かく」を集めましょう。

・ ハンドルをきる



・ ペンをかく



にた意味の言葉①

名前 ()

ことば

C-2

言葉には、同じ意味をもちながら、ほんの少し意味がちがい、使われ方にちがいがある言葉があります。

一 「にぎる」と「つかむ」、どちらが入りますか。あてはまる形に直して入れてみましょう。

- ① () () しめる ② () () かかる
- ③ () () 飯めし ④ わし () ()

二 言葉の使い方のふさわしい方に○をつけましょう。

- ① () 酒さか川の洪水こうずいは、五十回以上もあつたと言われている。
- () 酒さか川の洪水は、五十回以上もあつたと話されている。
- ② () 小田原漆器しっき作りでは、かんなを使って木を省く。
- () 小田原漆器作りでは、かんなを使って木をけずる。
- ③ () 金次郎や村の人たちの苦勞を、今に告げる。
- () 金次郎や村の人たちの苦勞を、今に伝える。

三 次の言葉とにた意味の言葉を からえらんで書きましょう。

- ① 話す () () () ()
- ② 見る () () () ()

ながめる 省はぶく 語る 見つめる しゃべる
求める のぞく 言う 参る

にた意味の言葉②

名前（

ことば

C-3

一 次の意味の言葉を考えて、（ ）の中に書きましょう。

① 持っていたものをなくすこと

失敗をして自信を（ ）う。

② 話すこと

友達と楽しく（ ）る。



二 の中からにた言葉をさがして、となりに書きましょう。そして、下に文を書きましょう。

	②	①	
	あがる	ふやす	文作り

やすむ たす けずる みる のぼる わかる

三 「取る」と「ぬく」も、にた意味の言葉です。文を作ってみましょう。

取る	
ぬく	

文と文のつながり①

名前（

ことば

C-4

だから「や」「かしの」のように、前の文と後の文のつながり方をはつきりさせる言葉を、
□
といいます。

一 （ ）に、接続語「だから」、または、「しかし」を入れましょう。

① 私は、小田原名産めいさん うめぼしの梅干が大すぎです。（ ）
具は、いつも梅干を入れます。

② 急なしゃ面は、水をたくさん必要とする米作りには向いていません。
（ ）
（ ）
（ ）

③ 小田原漆器しっきは手作りです。（ ）
同じものをいくつも作るのには時間がかかります。



二 接続語は、ほかにもあります。後ろの□から、なかまをさがしてみてください。

だから」のなかま

「かしの」のなかま

けれども そのため それで でも だが ですから

文と文のつながり②

名前

ことば

C-5

一 次の文の□には、「だから」が入るか「しかし」が入るかで意味がかわってきます。それぞれの意味を考えましょう。

○毎日、漢字練習をがんばった。□テストは九十点をだった。

「だから」を入れる たどきの意味	
「しかし」を入れる たどきの意味	

接続語は前の文と後の文のつながり方をはっきりさせるだけでなく、話し手や書き手の□を表すことがあります。

二 接続語せつぞくご □ □ □ を使って、文を作りましょう。

① はりきって、お手伝いをした。
だから、

② はりきって、お手伝いをした。
しかし、